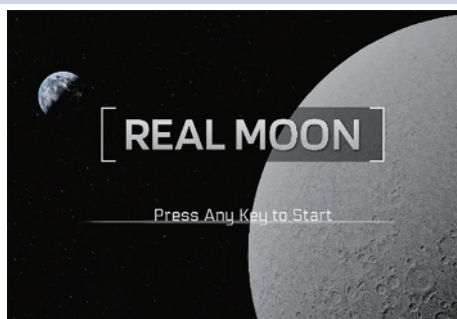


## ゲームでリアル月面探索！？「REAL MOON」

近年では、いわゆる家庭用ゲーム機に限らず、PCにゲームアプリをダウンロードして遊ぶスタイルも広く普及しています。そうしたPC向けゲームプラットフォームの中でも特に有名なのが「Steam」です。今回はそのSteamで配信されている「REAL MOON」について紹介します。

### JAXAが協力！リアルに再現された月面

REAL MOONは日本のソフトウェア開発会社である株式会社ヒストリアがリリースした無料のゲームです。無料だからと言って侮ることなかれ、このゲームに登場する月面地形は観測データや論文等を基に、JAXAとの共同研究によって作成されたものなのです。リアルに再現された月面を宇宙飛行士（＝プレイヤー）が探索するのがこのゲームの目的です。



タイトル画面 半地球が美しい

REAL MOONには「探索モード」と「フリーモード」の2つのモードがあります。「探索モード」では、探査機が残した画像を手掛かりに撮影地点を探し当てる“場所探しゲーム”が楽しめます。特徴的な岩や地形を頼りに進んでいくのですが、意外と判定がシビアで歯ごたえのある難易度です（立ち位置だけでなくカメラアングルも重要なようです）。ただ、一定時間が経つとヒントも使用できるので、この手のゲームに苦手意識がある人でも安心して挑戦できます。



探索モードの画面 左下に表示されている画像を手掛かりに撮影場所を探す

「フリーモード」ではローバーで月面を走り回ったり、オブジェクトを配置して写真撮影を楽しんだり、気ままに月面探索ができます。私のおすすめの遊び方は、月面からの星空観察です。なんとREAL MOONは月面の地形だけでなく、月面から見える星空まで正確に再現されているのです。さらに、日時を自由に設定できるため、地球の満ち欠けはもちろん、地球が太陽を隠す日食もばっちり再現されています。

執筆時点では月の表面の限られた範囲のみが探索可能となっていますが、探検しごたえは充分、SLIMの着陸地点を訪れることもできますよ！



ローバーを使えば移動もらくらく



SLIMを発見したので記念撮影

### ゲームの枠に留まらない、月面シミュレーターの活用

現在NASAが進めているアルテミス計画では、再び人類が月へと向かい、月面に滞在しながら探査・活動することが目標とされています。月面基地の建設、月での資源の調達・利用、長期滞在といった新たな目標を達成するためには、実際の月面環境を想定した事前の検証や訓練は不可欠です。JAXA相模原キャンパスには月面の地形や照度を模擬した環境を提供する「宇宙探査フィールド」が設けられていますが、REAL MOONのような月面シミュレーターを用いることで、地球上での物理的な制約を超えた多様な状況を再現することも可能になります。両者を組み合わせることにより幅広い月面活動の検証や訓練が行えるようになり、将来の月探査に向けた知見の蓄積に大きく貢献することが期待されています。

そんな月面シミュレーターを、ゲームとして気軽に体験できるのが「REAL MOON」です。月を見上げた後に、REAL MOONで月面探検へ出発してみるのはいかがでしょうか。

「REAL MOON」Steamストアページ:

[https://store.steampowered.com/app/4143610/REAL\\_MOON/](https://store.steampowered.com/app/4143610/REAL_MOON/)

画像のクレジットは全て(C)historia Inc.

野村 美月(科学館学芸員)